

府立中津支援学校



テーマ:主体的・対話的で深い学びの表現をめざす授業づくり ～深い学びの追求～

概要

中津支援学校では、令和2年度より校内の授業改善として、「授業改善公開授業」を設定し、教員全員が授業改善公開授業に参加し、他学部他グループの授業を参観しあう取組みを実施しています。また「概念化シート」を用いて、授業の振り返りをしています。

令和3年度はその実践をさらに深め、「主体的・対話的で深い学びの表現をめざす授業づくり」をめざし、全学習グループが公開授業を行いました。そのうち 4 グループの授業をパッケージ研修支援として、指導主事も交えて授業改善に取り組みました。

実施スケジュール

Research

4月28日(水)

担当者、担当指導主事で、今後の進め方について打ち合わせ

Vision

5月～9月

校内で「授業改善公開授業」実施計画を進める

Plan

11月上旬～

指導主事による事前授業見学・指導案検討

Do

11月10日(水)

研究授業・研究協議(1) 小学部:国語・算数

15日(月)

研究授業・研究協議(2) 中学部:数学

16日(火)

研究授業・研究協議(3) 小学部:自立活動

12月3日(金)

研究授業・研究協議(4) 高等部:総合的な探究の時間

Check & Act

1月中旬

アンケート集約

2月4日(金)

実践交流会(ポスター発表)

研究授業(1)

学年・教科: 小学部1・2年(AB低グループ) 「みる・きく・つたえる」

題材名: 「ごしごし しゅっしゅ 洗ってあったか気持ちいい!」

研究協議のポイント

パネルシアターで繰り返される「ごしごし しゅっしゅ」というセリフを再現遊びでどのように取り入れると効果的な言葉の学習となるか、順番待ちの時間を学びの場とするために T・T でどういった体制を組んでいけばよいかを話し合いました。



研究授業
(2)

学年・教科： 中学部1～3年 (FGグループ) 「数学」
 題材名： 「2つの数を比べよう」

研究協議の
ポイント

グループ内の生徒の課題を個々に把握したうえで目標や課題を設定していました。個に応じた指導を中心に行ううちに、となりの友だちの課題に興味を示す場面が出てきました。その芽生えを授業改善にどのように生かし、以降の授業に取り入れていくか話し合いました。

研究授業
(3)

学年・教科： 小学部4～6年 (C高グループ) 「自立活動」
 題材名： 「ビンゴゲームをしよう」

研究協議の
ポイント

集団で自立活動を行う授業の中で、一人ひとりの子どもが個別の指導目標を達成するためにはどうすればよいかを考えました。「人間関係の形成(4)集団への参加の基礎」を指導するために設定したビンゴゲームを通して、子ども同士の関わりを引き出すために T・T としてどのように連携すればよいかを話し合いました。

研究授業
(4)

学年・教科： 高等部1～3年 (DEグループ) 「総合的な探究の時間」
 題材名： 「できるかな」

研究協議の
ポイント

探究課題「豊かな表現力 豊かな感性」をめざして、総合的な探究の時間の授業をどのようにつくっていくかを話し合いました。協議を通して気付いた子どもの力や達成状況を次の単元にどう生かしていくか考えました。



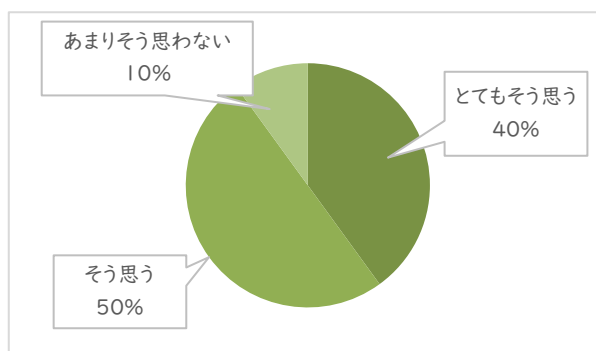
成果

子どもの様子や教材の工夫など、気付いたことをふせんに書き出しまとめていく中で、授業を客観的に振り返り、改善に向けて具体的なアイデアを出し合うことができました。児童生徒の実態に応じた授業づくりを大切にしながら、質問や提示の仕方を改善することで、より単元目標に沿った授業展開や子どもたちの学びにアプローチすることができることを共有できました。

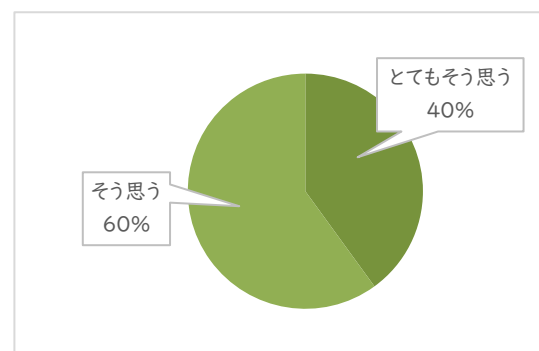
また、全学習グループで研究授業を行い、「概念化シート」を用いて、授業の振り返りと研究協議を行いました。すべての概念化シートを「実践交流会(ポスター発表)」の機会に全教職員で共有しました。「いろいろな先生の意見が聞いてよかった」「(ふせんの分布を見て)改善するポイントに気付いた」と授業者からはコメントがありました。教育センターからは、「この単元や授業でつきたい力は何かを明確にすること」「子どもの様子を評価し、次の授業に生かすこと」を授業づくりにおいて意識することが大切であるということを総評としました。

アンケート
結果

①学校のニーズにんでいた



②今回の成果を継続的に生かしていく



(感想より)

- ・ 丁寧に授業者にご指導いただき感謝しております。私は横でお話を聞いていただけでしたが、とても勉強になりました。
- ・ 授業前後の協議会での指導内容はすぐに実践できるものであったり、新たな見方や考え方が発見できてよかったです。授業力の向上につながったと思います。